

## 美術－４

### 「学校・アート・出会いプロジェクト」プログラム【基本案】

\* 内容は、事前打合せを行い各学校の状況に応じて変更を加えていきます。

#### ■ 基本情報

ジャンル	美術・工芸（日本画）		
対象となる学年	小学校 1,2,3,4,5,6 支援学級 中学校 1,2,3 支援学級 特別支援学校（小 中 高）		
対象となる科目	図工、美術		
実施可能地域	南丹（京丹波町、亀岡方面）、乙訓、山城（宇治、田辺方面） 当方、公共交通機関を使っでの訪問になります		
実施回数	1回	1回の所要時間	45分×3コマか4コマ（昼休み等を挟む）
実施可能人数	30人未満/1回		
実施団体	団体名 代表者名 正垣雅子		
連絡先所在地等	〒605-0953 京都市東山区今熊野南日吉町 185-3 Email / shogaki@kcuu.ac.jp		
団体、講師のプロフィール	京都市立芸術大学美術学部日本画専攻 准教授 専門は、日本画表現技法に基づく東洋の古典絵画の模写研究。 神戸市の小学校図工専科講師（4～6年生）、乙訓の小学校低学年（第2向陽小と大山崎小1～3年生）で常勤講師の経験があります。  京都市立芸術大学HP（教員紹介） <a href="https://www.kcuu.ac.jp/professors/shogaki-masako/">https://www.kcuu.ac.jp/professors/shogaki-masako/</a>		
実施可能な時期（期間）	5月・6月・11月・12月		

■ 実施内容

<p>対象となる プログラム</p>	<p>体験</p>
<p>テーマ (タイトル)</p>	<p>1、絵具って何？（日本画で作る色）</p>
<p>趣旨・目標 ねらい</p>	<p>身の回りの自然を、しっかり観察すると様々な気づきがあります。自分で見つけた色を、絵にする時、人は自然から色を探してきました。 日本画で用いる色は、チューブ絵具ではありません。様々な色の素（顔料）に接着剤（膠）を混ぜて、自分で絵具を作ります。自分の手で色を創るということを学びます。</p>
<p>全体計画 (案)</p>	<p>3、4年生をイメージした計画 事前にモチーフ集めをお願いします。 自分の身近になる自然物（石、枝、葉、木の枝、栽培した草花や野菜など）、教室内に持ち込めるもの、机の上において観察できる大きさのものを事前に集めておく。愛着があるものが好ましい。</p> <p>1.じっくり観察（見るだけでなく、触る）して、モチーフへの親近感と発見を深める。 2.モチーフの形を色紙等に描く。 3.下地の色を、パステルでつける。 4.絵具の説明をし、顔料を膠で溶いて色を作って、彩する。（偶然的な色の発色を楽しむ）</p>
<p>実施場所</p>	<p>図工室、多目的室など、少々広めの机と水が使える教室</p>
<p>講師等</p>	<p>講師（1人）スタッフ（1～2人）</p>
<p>備考</p>	<p>○必要な備品、設備等 事前に集める自然物、絵具セットの筆、パレット、雑巾</p> <p>○その他留意点 ・顔料は指で直接溶きます。児童の手指が汚れること（洗えば汚れは取れます）をご承知ください。 ・道具・画材等は事前に発送します。授業終了後、荷造りしますので返送のお手数をお願いします。</p>